



(今週のメニュー)

1. 低温・凍霜害に対する農作物の事後技術対策 (別添) (営農総合支援センター)
3. 園芸販売課情報 青果物の市場概況 (園芸部 園芸販売課)
4. 遮光・遮熱ネット「ダイオ カルクール」について (別添) (園芸部 園芸資材課)
5. 水稲用除草剤「シリウスターボ」について (別添) (生産資材部 肥料農薬課)
6. 気象情報 (営農総合支援センター)

1 低温・凍霜害に対する農作物の事後技術対策

(発信部署：営農総合支援センター)

内 容：

群馬県 技術支援課 普及指導室より、表題の件についてお知らせします。
[詳細は別添資料をご覧ください。](#)

以 上

2 園芸販売課情報 青果物の市場概況

(発信部署：園芸部 園芸販売課)

内 容：

品 名	5月 7日 ~ 5月11日		5月13日 ~ 5月18日	
	高値	安値	高値	安値
ほうれん草 (200g) 袋	116	~ 53	116	~ 32
ふ き (4kg) DB	1,575	~ 630	1,260	~ 420
に ら (100g) 束	37	~ 21	32	~ 16
チンゲンサイ (300g) 袋	63	~ 32	53	~ 21
き ゆ う り (5kg) DB	1,785	~ 315	1,680	~ 210
な す (400g) 袋	168	~ 105	168	~ 84
ト マ ト (4kg) DB	1,155	~ 420	1,050	~ 420
ミニトマト (200g) パック	100	~ 63	100	~ 63
い ち ご (300g) パック	336	~ 84	336	~ 74
小玉すいか (6玉) DB	4,725	~ 1,050	4,725	~ 1,050

3

遮光・遮熱ネット「ダイオ カルクール」について

(発信部署：園芸部 園芸資材課)

内 容：

夏場の高温対策に、今回はダイオ化成(株)の「カルクール」について紹介させていただきます。白色のため、ハウス内が明るく、作業がしやすい。しかも、温度上昇防止剤入りでハウス内の温度上昇を抑える商品です。

[詳細は別添チラシをご覧ください。](#)

お問合せ先 全農群馬県本部 園芸部 園芸資材課まで TEL027-220-2291

4

水稲用除草剤「シリウスターボ」について

(発信部署：生産資材部 肥料農薬課)

内 容：

[詳細は別添資料をご覧ください。](#)

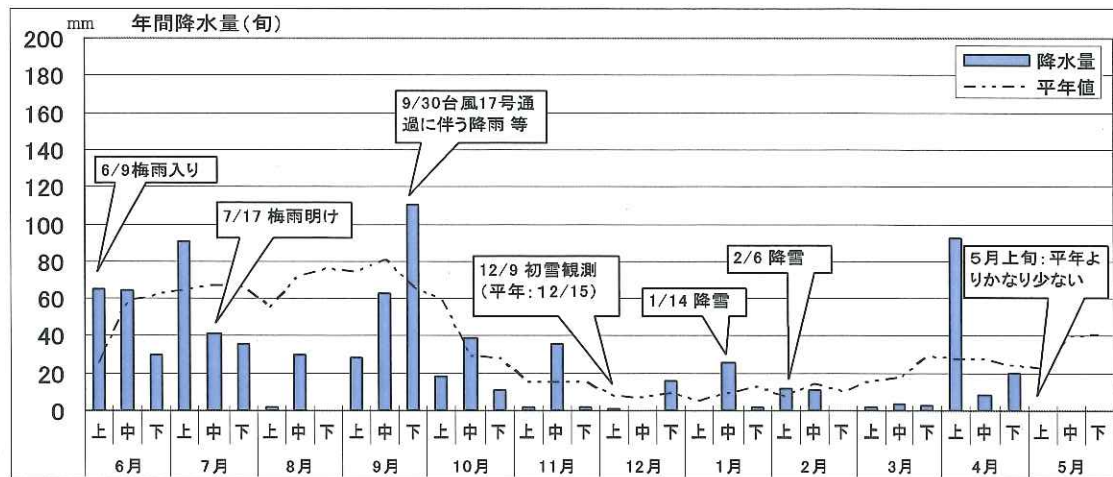
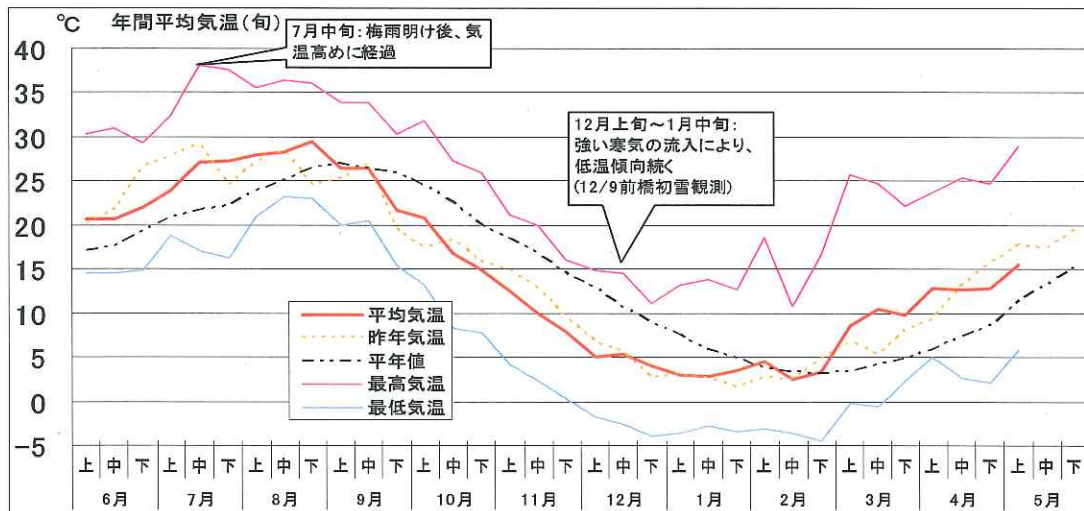
以 上

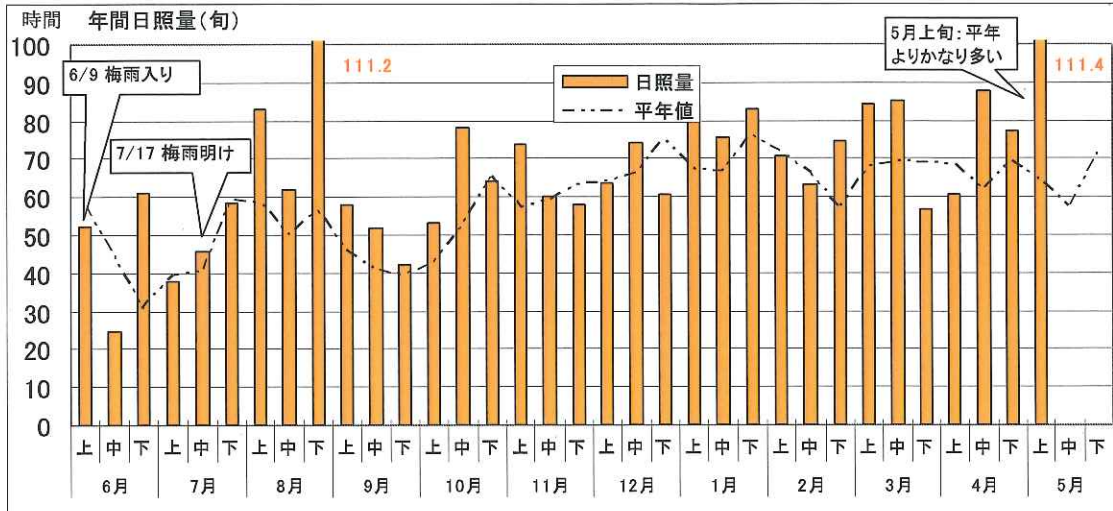
5

気象情報

(発信部署：営農総合支援センター)

内 容：気象経過 (前橋気象台 標高112m)





【お知らせ】

▲みどりの風 放送予定

本放送：月曜日 21時00分～21時30分

再放送：日曜日 8時00分～8時30分



<今週の放送予定>

(第1051回) 「めざせ新農業人! ぐんま農業実践学校」

放送日：5月20日 (再放送日：5月26日)
内容：JA群馬中央会より、農業を学べる場、群馬県立農林大学校とぐんま農業実践学校の授業の様子などをご紹介します。

<次週の放送予定>

(第1052回) 「こだわり野菜を食卓へ」

放送日：5月27日 (再放送日：6月2日)
内容：JA碓氷安中より、ズッキーニやタマネギ、にんにくの生産の様子やおススメ料理などをご紹介します。

【編集後記】

今日からクールビズが実施されたことに伴って、朝からノーネクタイで出勤しました。まだ5月ということもあり、そこまで暑くはないのですが、ネクタイがないことによる首元の涼しさを感じています。私服の方も、そろそろ半袖・短パンを着る準備をしておかなくてはいけないなと思いました。

営農総合支援センター 生産振興課

(TEL: 027-220-2255 FAX: 027-220-2024)

低温・凍霜害に対する農作物の事後技術対策

平成25年5月10日

技術支援課普及指導室

I 作物

1 水稲

(1) 育苗期の低温により葉先枯れなどが見られるが、適切な温度管理を行い、回復を図るとともに、状況に応じて追肥を行い生育促進を図る。

(2) 本田移植後の低温により葉先枯れが認められても、株全体が枯死した場合以外は、生育回復が期待できるので植え直しの必要はない。

2 麦類

穂の一部退化（奇形）や不稔が多い場合は、赤かび病の発生が懸念されるので、適切な防除を行う。

II 野菜

1 共通事項

(1) 生育初期で被害が甚だしいものは、まき直すか植え替える。被害が軽いものは、べたがけ資材の利用やトンネル内の保温に努め、草勢を回復させる。

(2) 生長点、莖葉などの被害部は、必要に応じて摘除し、草勢の回復を図るため、側枝（わき芽）の利用や摘果を行う。

(3) 地上部の生育と根の回復を図るため、液肥の葉面散布を3～5日間隔で2～3回行う。

2 作物別

(1) 未成熟トウモロコシ

・ 無除けつ栽培を徹底して健全葉数を確保して光合成量を増やし、草勢の維持回復を図る。

・ 追肥を実施する場合は、早め実施して生育を促進させる。基肥量が少ない場合は、追肥量を1割程度増やす。

(2) トンネルカボチャ

・ 低節位（8節以下）に雌花着生が見られる場合は、開花前に摘花して生育を促進させる。

・ 1番果の着果節位は草勢に応じて調節する。草勢が低下している場合は、通常より着果節位1～2節上げて葉面積を確保して果実肥大を促す。

Ⅲ 果樹

1 共通事項

(1) 蕾の時期や開花中に凍霜害を受けた場合は、残存花への人工受粉の徹底を図り、結実の確保に努める。

(2) 結実の良否は、品目・品種・生育ステージにより異なるので、園地ごとに結実の状況をよく確認する。

(3) 結実量が少なく強樹勢になるおそれがある樹では、可能な限り着果させる。副芽や不定芽などから発生した徒長枝は整理し、翌年の結果枝・結果母枝として利用可能な枝は誘引などを実施する。

(4) 結実が良好な園地や、被害の軽微な園地は適切に摘果等の作業を実施する。凍霜害の発生年は、状況観察に時間をとられ摘果作業が遅れることが多く、果実の肥大が不良となりやすいので、着果状況を見極め作業可能な園地から計画的に摘果を進め、摘果作業が遅れないようにする。

(5) 結実困難な場合であっても防除は基準どおり実施し、翌年の生産に備える。

(6) 結実量が少ない樹では枝葉が過繁茂になりやすいため、結実量の減少程度や樹勢に応じて施肥量を減らす。

2 作物別

(1) リンゴ

・開花期にある地域は、結実確保のため柱頭が褐変していない花に対して人工受粉を徹底する。

・原則摘花作業は行わず、がく立ち後の肥大を待つサビや果柄障害が明らかとなってから行う。腋花芽の摘花は、頂芽の胚珠枯死が甚大な場合は実施しない。

・摘果作業はサビ果の発生が少なく側果を利用できる「ふじ」から開始するなどし、予備摘果後の結実量は変形果等を除くため、可能ならば通常よりやや多めに確保する。

・品種によっては、側果を利用するとつるさびの発生が多くなるので、中心果の利用を基本とする。しかし、被害を受けている場合は中心果、側果に関わらず、肥大の良い変形していない果実を残す。

・今後生育が進むと、変形果や果柄障害、サビ果等が確認される場合があるので、よく観察し仕上げ摘果で整理し、着果基準に近づける。

(2) ナシ

・赤ナシでは、ていあ部を中心としたサビは目立たなくなるので、肥大の良いものを主体に残す。ただし、赤道部の裂傷やくぼみのある果実は傷果となるので、摘果する。

・摘果時に果形が悪い果実は最終的に変形果となりやすいので注意する。

・青ナシは、収穫期までサビが残りやすいので、サビは少なめのものがよい。
・仕上げ摘果時は、果形、果面、果柄を上下・左右からよく観察し、変形果やサビ発生著しいものから摘果し、着果基準に近づける。

(3)モモ

・被害を受けた園は、着果位置にこだわらず結実確保を優先する。下向き果が多く残ると思われるが、利用してよい。

・摘果作業は、幼果が肥大し結実を確認してから実施する。

・白鳳系など核割れが起きやすい品種では、着果量を急に減らす摘果をしないよう注意し、予備摘果では着果位置や変形果、小玉果等にこだわらず多めに残し、幼果の急激な肥大を防ぐ。果実肥大に合わせて複数回、素質の劣る果実から摘果するよう努める。

(4)スモモ

・スモモはサビ果が発生しやすいので、見極められる時期になってからサビ果を優先的に摘果する。

・結実不良園で部分的に着果がよい場合には、成熟期に果実が押し合わない程度まではその部分に結実させてもよい。

(5)オウトウ

・着果量が少ない場合は、着果している果そうには通常よりやや多めに着果させるなどして樹全体で着果量を調整する。なお着果量が多すぎると着色が不良となる場合があるので注意する。

・結実がよい樹に過剰に着果させると、翌年の生育等に影響が出るがあるので適正着果量を守る。

・樹体管理では、着果負担が足りず徒長枝等が多発することが考えられるので、摘芯等の新梢管理は通常通り実施し、樹勢抑制と防除効果向上を図る。

〈温度上昇防止剤入り〉



ハウス内は驚きの明るさ。
花も作物も大喜び!

イチゴ: 軟化防止、
育苗時の高温防止

添付
サンプル
上から
SW-30
SW-50
SW-70

〔熱融着〕超軽量 遮光・遮熱ネット

ダイオ カルクール

熱ストップ!

優れた遮熱効果を発揮! ハウス内は明るいまま。
軽い、しかも ほつれない。作業は楽々、
オフ時はコンパクト収納!

注目の温度上昇防止剤入り
だからテープ表面に蓄熱しない。また、
白色のため光線透過率が高く、
明るいまま遮熱!
ハウスの中は爽やか。

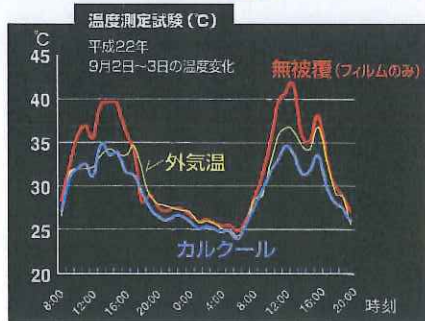
軟弱野菜: 発芽率アップ、
生育促進

花卉類: 日焼け防止、
草丈伸長

トマト: 高温障害・裂果 防止



品名	品番	遮光率(約%)	色
ダイオ カルクール	SW-30	30~35	ホワイト
	SW-50	50~55	
	SW-70	70~75	



※左表の数値は測定値であり、保証値ではありません。(ダイオ化成調べ)

お取り扱い上のご注意

- 可燃性のプラスチックなので、火気の近くでご使用の際は、ご注意ください。
- 焼却時に有毒ガスを発生する成分を含んではいませんが、廃棄の際は、廃プラスチックとして法令・条例の定める方法にて処分してください。

材質: UV剤入りポリエチレン ●ハウスに合わせて巾・長さ共に、ご希望サイズに加工いたします。ハトメ付け、ロープ縫い込みも承ります。

ダイオ化成株式会社 <http://www.dionet.jp/>

代理店

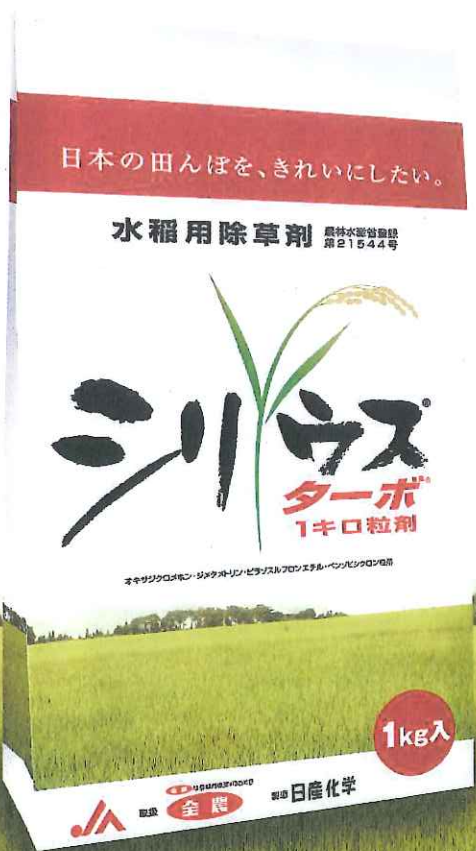


本社・東京営業所 東京都中央区明石町8-1聖路加タワー13階 TEL.03-6830-3010
大阪営業所 大阪市中央区久太郎町1-4-8堺筋本町ガーデンスクエア11階 TEL.06-6266-1016
福岡営業所 福岡市中央区天神4-4-26天神第2ビル7階 TEL.092-761-6502

抵抗性ホタルイ、コナギ、
クログワイ、オモダカなどの多年生雑草はもちろん

藻・アオミドロ・表層はく離に 優れた効果。

シリウスターボ
フロアブル
新登場!



作用の異なる4つの成分を組み合わせることで、幅広い雑草に対処できます。



● 4つの成分の主な作用

ジメタメトリン

藻、アオミドロ、表層はく離によく効く。

オキサジクロメホン

ノビエの発生を長期間抑える。

ピラソスルフロンエチル

クログワイ、オモダカなどの多年草雑草に強く、さらにアメリカセンダングサなどの広範囲の広葉雑草にも優れた効果。

ベンゾピシクロン

SU抵抗性*のホタルイ、アゼナ、コナギ、およびイボクサ、アシカキなどの特殊雑草にもよく効く。

※スルホニルウレア系の除草剤が効きにくくなった雑草

■ 藻・アオミドロ、表層はく離に優れた効果。

有効成分「ジメタメトリン」は、藻類の抑制効果に優れるので発生前の処理で表層はく離を防ぎ、稲への絡みつきのなどを軽減します。

藻類、表層はく離に対する効果

散布適期: 発生前～発生始



藻は見た目が悪いだけでなく、稲に絡みつき、稲を浮き上がらせたり、水温を下げて分けつや生育を阻害します。また、表層はく離を発生させ、薬剤の拡散の妨げになります。

■ ノビエに高い効果。

発生量が多く、稲に大きな被害を与える強害殺草ノビエ。有効成分「オキサジクロメホン」は、その効果が長期間持続します。

ノビエ

無処理

シリウスターボ



■ 雑防除雑草クログワイにも優れた効果を発揮します。

有効成分「ピラソスルフロンエチル」が地上部をしっかりと枯らしめます。これにより塊茎形成を阻害し、翌年の発生量を減らします。

※発生期間の長いクログワイ・オモダカに対しては、他剤との体系でご使用ください。

クログワイ

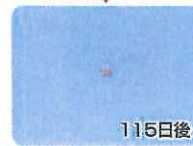
クログワイ(塊茎)

無処理

シリウスターボ

無処理

シリウスターボ



■ 散布適期の目安

一発処理

初期剤との体系処理

※初期剤と体系で使用することにより、クログワイ・オモダカをより有効に防除できます。



(ノビエ2葉期頃までを目安に散布してください)

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。